

昭和 63 年秋季 (第 116 回) 講演大会討論会

討論講演募集

昭和 63 年秋季 (第 116 回) 講演大会で開催されます討論会講演を下記により募集いたしますので奮つてご応募下さるようご案内いたします。

1. 討論テーマ

I 原料特性を考慮した塊成鉍プロセスの制御 座長 佐々木盛治 (新日鉄)

製鉄部門には、より一層のコスト低減が要求されていますが、その環境下で塊成鉍プロセスについては、原料特性を生かした新技術、新プロセス、最適操業法等が盛んに研究され、実用化も進められている現状にあるといえます。そこで今回は、粒度、成分、銘柄等の原料特性を考慮した塊成鉍プロセス (焼結、ペレット、新塊成鉍) の新しい制御法 (最適操業法を含む) について討論したいと考えます。多数の発表と活発な討論を期待する次第です。

II 二次精錬の役割 座長 萬谷 志郎 (東北大) 副座長 河井 良彦 (鋼管)

最近 10 年における鋼の高純変化、清浄化には目を見張るものがある。これらは主として二次精錬法における技術的發展によるものである。より高級条鋼をより安価に供給することは今後の鉄鋼業における最も重要な技術的課題であり、二次精錬法の役割はますます増大していると言える。

本討論会は、二次精錬に関する物理化学的、化学工学的基礎研究、最近における二次精錬技術の発展と成果、および将来の技術展望につき討論する事を目的としている。発表、討論両面にわたり多数の参加を期待いたします。

III 粉末成形技術の最近の進歩 座長 滝川 博 (神鋼)

粉末成形技術は、従来より各種金属、セラミックス製品の製造手段の 1 つとして発展してきた。近年新素材開発の進展とあいまつてその重要性が更に高まっている。技術的にも真密度化、複雑形状化、複合化、さらに理論解析などの面でも大きな進歩が見られる。本討論会では、これら新しい技術の課題および今後の展開についての討論を期待する。

IV 直接鑄造薄板材の組織と材料特性 座長 武智 弘 (新日鉄)

近年直接鑄造薄板の研究開発が世界的に行われているがこれには鑄造装置・鑄造法に関する問題と材料のメタラジ-製品特性に関する問題が含まれる。今回は後者的に絞って直接鑄造法で製造される熱延・冷延鋼板 (高張力鋼板を含む)・ステンレス薄鋼板などのプロセス中に生ずるメタラジカルな変化とその支配要因、それらが材料特性に及ぼす影響などについて討論を行いたい。鑄造後に直接熱延を含むもの、含まないものなど条件設は自由である。活発な参加を期待する。

2. 申込締切日 昭和 63 年 4 月 22 日 (金)

3. 申込方法 討論会参加ご希望の方は討論会申込書を下記までご請求下さい。申込用紙には必要事項ならびに申込書裏面に 400 字程度の講演のアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和 63 年 6 月 24 日 (金)

討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙 4 枚以内 (表、図、写真を含む) にワープロ、タイプ印書あるいは黒インクまたは墨をもちいて楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第 74 年第 10 号 (昭和 63 年 10 月号) にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「材料とプロセス」(日本鉄鋼協会講演論文集) Vol. 1 No. 4, 5, 6 号に講演内容を掲載いたします。

8. 問合せ・申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会編集課 TEL 03-279-6021

第 10 回日向方斉学術振興交付金の希望者募集案内

申込締切日・昭和 63 年 3 月 4 日 (金)

本会では住友金属工業株式会社から当時の取締役会長日向方斉氏の功績記念のため寄贈された金五千万円の資金をもって鉄鋼関係学術振興のため「日向方斉学術振興交付金制度」を設置しておりますが、標記のとおり募集をすることになりました。希望者は所定の申請書様式（本協会にご請求下さい）により応募して下さい。

記

1. 本制度の目的

大学、研究機関等にいる鉄鋼関係の若手研究者が海外で開催される国際研究集会（これに準ずるものを含む）に優れた研究成果を発表するために必要な渡航費等を支弁することを目的とする。

2. 応募資格

1) 国公立の大学、工業高等専門学校等または国公立研究機関（特殊法人を含む）に在職中または在学中の本会会員（正会員、学生会員）で、2) 国際研究集会の開催時の年齢が 43 才未満でありかつ、3) 本会会誌またはその他の学術的刊行物に研究成果の発表をしたことのある者。

ただし昭和 60 年 7 月以降に本交付金を受領した者は除く。

3. 対象国際研究集会

昭和 63 年 7 月から昭和 64 年 6 月までに開催される国際研究集会で技術分野は、本会が春秋に行っている講演大会の範囲の集会、なお原則として同一の国際研究集会に複数名は出席できません。

4. 支弁する交付金の内容

1) 航空運賃（必要最少限のエコノミー料金）、2) 滞在費（集会開催日の前日から終了日の宿泊まで）、3) 参加登録費

5. 申請方法 本会所定の申請書様式により本人が申請する。

“記入内容の概略”

1. 住所、氏名、生年月日、所属職名、正会員・学生会員の別
2. 過去の研究業績（本会会誌またはその他の学術的刊行物への投稿論文、共著者名記載）
3. 出席する国際研究集会の名称、主催者、会期、開催地
4. 発表する論文の主な内容（共著者名記載）
5. 参加資格（座長、招待講演者、一般講演者等の別）
6. 必要経費の概算額
7. 他機関への旅費等の申請の有無

6. 交付件数 5 件以内

7. 受給者の義務 1. 出席報告書の提出（原則として会誌「鉄と鋼」に掲載）
2. 発表論文（写）の提出

8. 申請書様式請求先及び申請書提出先

〒100 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 4 号 経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会 総務部 庶務課 (Tel. 03-279-6021)

9. 申請書締切日 昭和 63 年 3 月 4 日 (金)

10. 交付決定通知

交付決定者には昭和 63 年 4 月 8 日までに通知し、本会会誌に氏名、発表論文題目、発表する国際研究集会名を掲載する。

石原・浅田研究助成金交付候補研究募集要領

申込締切日・昭和 63 年 6 月 30 日(木)

本会では鉄鋼の学術または技術に関する研究を補助育成する目的をもつて、「石原・浅田研究助成金制度」を設け昭和 47 年度より助成金を交付しております。ついては、今年度の助成金を交付すべき候補研究を下記要領により募りますので、交付希望研究者は協会所定の様式をもつて応募して下さい。

記**1. 交付対象**

鉄鋼の学術または技術に関する研究に従事する本会会員、またはそのグループとし、研究者の年齢は昭和 63 年 4 月 1 日現在満 36 才未満(昭和 27 年 4 月 2 日以降の生まれ)とする。(大学院博士課程学生を含む。)ただし昭和 59 年度以降の交付金受領者は原則として除外する。

2. 研究期間・内容

研究期間は助成金の交付を受けてから 2 年以内とし、鉄鋼に関する学術あるいは技術への寄与が期待され、かつ着眼点または研究手法が独創的な研究とする

3. 交付金額

1 件 40 万円, 8 件以内

4. 申請方法

1) 申請者 研究者本人またはグループ代表者

2) 申請方法 協会所定の申請書にその内容を記載し申請するものとする。記載内容の項目は次のとおりである。

- (1) 研究課題
- (2) 研究者氏名, 所属, 他
- (3) 研究の目的
- (4) 研究の実施計画, 方法
- (5) 研究の特色, 独創的な点
- (6) 従来の研究経過, 成果または準備状況
- (7) 同種研究の国内外における研究状況
- (8) その他

3) 申請書請求および送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 社団法人日本鉄鋼協会 総務部 庶務課宛

4) 申請書締切日 昭和 63 年 6 月 30 日(木)

5. 選考

本会研究委員会が選考内規に基づいて選考を行い、理事会で決定する。

6. 交付決定通知

交付が決定した時は研究者名・研究課題を会誌に報告し、同時に研究者またはグループの代表者に通知する。

7. 助成金の交付

本研究の助成金は研究者の所属する機関に経理を委託する。研究者が大学院博士課程の学生の場合には学生の指導教官を通じて所属大学に委託するものとする。

8. 報告

本研究助成金を受けた研究者は、必ずその研究成果について 2,000 字程度の報告書を作成し研究期間終了後 1 カ月以内(最終期限は昭和 66 年 2 月末日)に提出しなければならない。この報告書は会誌「鉄と鋼」に掲載する。また研究成果について発表する際には本助成金を受けた旨を明記し、その一部(コピーでも可)を提出するものとする。

なお、助成金についての経理報告は必要がない。

9. 石原・浅田研究助成金について

昭和 33 年以来故石原米太郎殿(当時、特殊製鋼株式会社社長、同社は昭和 51 年 9 月に大同製鋼株式会社および日本特殊製鋼株式会社の 3 社合併により、大同特殊製鋼株式会社となる)の寄贈により石原米太郎研究資金が設定されその果実をもつて研究助成金の交付を行っておりましたが、さらに昭和 46 年 4 月株式会社神戸製鋼所から寄贈された浅田長平記念資金の毎年の果実の過半も研究助成金にあてることになりました。そこでこれらを一つにまとめて「石原・浅田研究助成金」と改称して昭和 47 年度から交付しているものです。

国際会議開催と参加者募集のお知らせ**International Conference on Physical Metallurgy of
Thermomechanical Processing of Steels and Other
Metals (THERMEC-88)****— 加工熱処理の物理冶金に関する国際会議 —**

日本鉄鋼協会主催

本会では標記会議を1988年6月に開催いたします。実行委員会(田村今男委員長)ではThird Circularを発行して会議参加者を募っておりますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 1988年(昭和63年)6月6日(月)~6月10日(金)
2. 場 所 経団連会館(東京都千代田区大手町1-9-4 Tel. 03-279-1411)

3. テーマ内容

THERMEC-88 will focus on the experimental and theoretical bases of physical metallurgy involved in the thermomechanical processing of steels and other metals and alloys. The following categories are covered:

- (1) Deformation behavior during hot and warm working
- (2) Static and dynamic recrystallization, precipitation and grain growth
- (3) Diffusional and diffusionless transformations and precipitations from work-hardened phases
- (4) Interplay of transformation, precipitation and recrystallization, and its applications to structure control and improvement of properties
- (5) Effects of microalloying on hot-deformation behavior, recrystallization, grain growth and phase transformation

4. 発表論文

- ・特別講演 Opening lectures: 田村今男(京都大学名誉教授), A. M. Sage (UK), A. J. DeArdo (USA)
Keynote lectures: M. Hillert (Sweden), G. C. Weatherly (Canada), 吉永日出男(九州大学), J. J. Jonas (Canada), 谷野 満(新日本製鉄), H. I. Aaronson (USA), 西沢泰二(東北大学), 小指軍夫(日本鋼管), J. C. Williams (USA), O. Pawelski (FRG), C. M. Sellars (UK), 牧 正志(京都大学)
- ・一般講演 下記セッションに国内外合わせて119件の論文が発表されます。

5. セッション

Grain Growth / Precipitation / Hot Deformation Behavior / Hot Ductility / Static and Dynamic Recrystallization / Precipitation from Worked Austenite / Diffusional Transformation / Accelerated Cooling / Thermo-mechanical Treatment and Mechanical Properties / Non-ferrous Alloys / Ti Alloys / Hot Rolling Texture / Formable Sheet Steels / Hot Working Simulation / Computer Simulation / Martensitic Steel / High Alloyed Steel

6. 会議用語 論文発表, 討論とも英語(通訳はつきません)**7. 参加申込**

- 1) Third Circular に掲載の申込用紙に必要事項を記入し, 下記宛お送り下さい。
- 2) 申込締切 1988年(昭和63年)5月20日(金)
- 3) 参加費 50,000円
- 4) 工場見学は, 対象を外国からの参加者に限らせていただきましたのでご了承下さい。

8. 申込・問合せ先

参加申込, Third Circular のご請求, その他本会議に関するお問合せは下記宛お願いいたします。

〒100 千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階

(社)日本鉄鋼協会 国際課 THERMEC-88 担当 松本, 佐藤
Tel. 03-279-6021 Fax 03-245-1355(G2, G3)

国際会議開催のお知らせ
材料評価に関する国際会議
— 土木・海洋環境における材料挙動の評価と材料開発 —
International Conference on
EVALUATION OF MATERIALS PERFORMANCE IN
SEVERE ENVIRONMENTS
— Toward the Development of Materials for Marine
and Other Uses —
(EVALMAT 89)

日本鉄鋼協会主催

本会では標記国際会議を 1989 年 11 月に開催することになりました。会員各位の多数のご参加をお待ちしております。

1. 期 日 1989 年 11 月 20 日 (月)～23 日 (木)
2. 場 所 神戸国際会議場
3. テーマ内容
 - (1) Fracture toughness
 - (2) Fatigue and corrosion fatigue
 - (3) Corrosion and erosion in general
 - (4) Corrosion of steels and the protection
 - (5) Corrosion of steels in concrete structure
 - (6) Welding - materials and methods
 - (7) Advanced materials

4. 会議用語 論文発表、討論とも英語。通訳はつきません。

5. 問合せ先

その他の詳細は First Circular をご参照下さい。First Circular は下記事務局宛ご請求下さい。

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社)日本鉄鋼協会 国際課

EVALMAT 89 担当 金子, 佐藤 TEL. 03-279-6021

「鉄と鋼」別刷料金の改訂のお知らせ

会誌「鉄と鋼」の別刷は、昭和 57 年 1 月より現料金でしたが、このたび次のとおり料金の改訂をすることになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 実施時期 昭和 63 年 3 月 1 日以降投稿される記事から実施

2. 料 金

ページ 部数	1～4		5～8	
	現 在	改 訂	現 在	改 訂
50	13,300	18,000	15,000	20,000
100	16,000	21,000	17,900	23,000
150	18,900	24,000	21,900	27,000
200	21,200	26,000	23,800	29,000

3. 別刷購入の義務 論文、技術報告は最低 50 部の別刷を購入していただきます。

論文募集

日本鉄鋼協会主催

国際会議開催と論文募集のお知らせ

—亜鉛および亜鉛合金めつき表面処理鋼板に関する国際会議—

International Conference on Zinc and Zinc Alloy Coated Steel Sheet
(GALVATECH '89)

本会では標記国際会議を 1989 年 9 月に開催することになりました。会議実行委員会では First Circular を発行して論文募集を行っておりますので、下記概要をご覧のうえ多数ご応募下さるようお知らせいたします。

1. テーマ内容

GALVATECH '89 will focus on the following topics :

1. New coatings and coating methods
2. Coating facilities and operations
3. Conversion coatings and pre-painting
4. Welding, forming, painting and corrosion characteristics for specific applications, e. g., autobodyes, appliances and construction
5. Surface and structural analyses of coatings
6. Simulated and accelerated test methods
7. Corrosion mechanisms

2. 期 日 1989 年 (昭和 64 年) 9 月 5 日 (火) ~ 7 日 (木)

3. 場 所 経団連会館 (東京・大手町)

4. 会議用語 論文発表, 討論とも英語 (通訳はつきません)

5. 論文発表の申し込み方法

- 1) アブストラクト提出締切日: 1988 年 (昭和 63 年) 9 月 15 日 (木) 研究の目的, 方法, 結果および特徴を英文で 600~800 語に記述して下さい。
- 2) アブストラクトの審査後, 採否を 1988 年 11 月 15 日までに連絡します。
- 3) 論文提出締切日: 1989 年 2 月 15 日 (水)

6. 問合せ先

本会議に関するお問合せ First Circular のご請求等は下記宛お願いいたします。

〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
(社)日本鉄鋼協会 国際課
GALVATECH '89 担当 五十嵐, 佐藤 TEL. 03-279-6021

— 会 員 名 簿 発 行 案 内 —

この度、本会では 1987、88 年版の会員名簿を発行いたしました。下記により販売いたしておりますのでお申し込み下さい。

記

名簿の構成	定款・細則等, 役員および委員, 歴代会長, 名誉会員, 賛助会員, 正会員, 学生会員, 外国会員, 関連団体 (会社, 官公立機関大学等), 表彰者, 事務局		
定 価	会 員	3,000 円	別に送料 400 円
	非会員	8,500 円	別に送料 400 円
	送金先	社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会 郵便振替口座 東京 7-193	

問合せ先 日 本 鉄 鋼 協 会 庶務課
(千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 TEL. 03-279-6021)

次世代産業技術国際シンポジウム

1. 主催：(財)日本産業技術振興協会，ファインセラミックス技術研究組合，高分子基盤技術研究組合，(財)次世代金属・複合材料研究開発協会，兵庫県
2. 共催，後援，協賛：日本鉄鋼協会，他
3. 開催期間：昭和63年3月22日(火)～25日(金)
4. 開催場所：神戸国際会議場 神戸市中央区港島中町
TEL 078-302-5200
5. スケジュール(セッション名)
 - 3月22日 13:00～18:00 総合セッションI
 - 23日 9:00～18:00 高結晶性高分子材料：金属系複合材料：ニューマテリアル：導電性高分子材料：樹脂系複合材料：セラミックス複合材料。
 - 24日 9:00～18:00 高機能性分離膜材料：ファインセラミックス材料技術：超塑性合金：ファインセラミックス応用技術：単結晶合金，ODS合金：光反応材料。
 - 25日 9:00～17:00 超電導材料：総合セッションII
 懇親会：昭和63年3月23日(水) 18:30から(神戸ポートピアホテル)
6. 参加費
 - ①シンポジウム参加費

一般	¥ 40,000
大学，国公立試験研究機関	¥ 20,000
 - ②懇親会参加費 ¥ 80,000
7. 申込締切日：昭和63年2月29日(月)
8. 問合せ，申込み先
次世代産業技術国際シンポジウム登録事務局
〒100 東京都千代田区内幸町 2-2-1
(日本プレスセンタービル4階)
日本コンベンションサービス(株)内
TEL: 03-508-1213 FAX: 03-508-0820

第114回塑性加工シンポジウム

「積層複合板材の製造とプレス成形技術」

1. 共催：日本塑性加工学会，日本機械学会
2. 協賛：日本鉄鋼協会，他
3. 日時：昭和63年5月13日(金) 9:30～17:00
4. 会場：新日本製鉄(株)中尾教育センター
北九州市八幡東区宮の町
電話(093) 651-7368
5. プログラム：9:30～15:50
積層複合板材の製造技術の現状と問題点：半溶融圧接・圧延法による粒子強化積層複合板材の製造：熱間圧延による積層複合板材の製造：冷間圧延による極薄積層複合板材の製造：積層複合板材のプレス成形における基礎的考え方：サンドイッチ鋼板のプレス成形性：アルミ箔-樹脂フィルム積層材の塑性変形特性とプレス成形：総合討論
6. 問合せ，申込み先
社団法人 日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木5-2-5 電話(03)402-0849

第113回塑性加工シンポジウム

「有限要素法による板材成形シミュレーション」

1. 共催：日本塑性加工学会，理化学研究所
2. 協賛：日本鉄鋼協会，他
3. 日時：昭和63年4月4日(月) 9:30～16:20
4. 会場：東工大第一会議室(本館四階)
[目黒区大岡山 電話(03) 726-1111]
5. プログラム：9:30～14:50
板材成形シミュレーション概説：深絞り解析のための有限要素法アルゴリズム：シェル理論による張出し成形シミュレーション：板材成形における分岐挙動解析：シミュレーションによる深絞り最適プランク形状の決定：ベンチマークテスト結果：総合討論。
6. 定員：100名
7. 参加費(テキスト代含む)：協賛学協会員 5,000円(学生会員半額)，テキストのみ協賛学協会員 3,000円
8. 問合せ，申込先：日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木 5-2-5
トリカツビル3階 電話(03) 402-0849

World Materials Congress 1988

1. 期日 1988年9月24～30日
2. 場所 McCormick Place, Chicago, Illinois, USA
3. 主催 ASM INTERNATIONAL
4. 協賛 (社)日本鉄鋼協会他 89 団体
5. 主なテーマ例
 - Cast Metal Matrix Composites
 - Microalloying '88-HSLA Steel Technology
 - Programs on the Latest Advances in Heat Treatment
 - Advances in High Integrity Casting
 - Latest Technology in Electronic Materials and Processing
 - Polymer Matrix Composites
 - Superconductive Materials and Applications
 - Advanced Ceramics
 - Materials and Designs for Building and Rebuilding Roads and Bridges
 - Metallography and Effect of Inclusions on Properties
 - Technical and Economic Aspects of Life Cycle Engineering
 - Advances in Steel Processing
 - Product Quality, Reliability and Performance
 - Metastables and Magnetic Materials
 - Advanced Sensors: Intelligent Processing
 - Corrosion Protection for Automotive Sheet Steels
 - Materials and Processing in Micro-Gravity Environments
 - Al-Li Alloys and Applications
 - Materials Issues in Energy Systems
 - Joining of Materials
 - Surface Engineering
 - Bainite Conference

6. また、以下の会議が同時開催されます。
- 11th Heat Treating Conference
 - IFHT Congress
 - International Conference on Environment-Induced Cracking of Metals
 - Sixth International Symposium on Superalloys
7. その他 Educational study tours, Guests program も行なわれます。
8. 詳細については下記事務局宛お問合せ下さい。

World Materials Congress 1988
 Technical Department
 ASM INTERNATIONAL
 Metals Park, Ohio 44073
 USA

なお、本会国費課にも 1st circular がございますので、ご希望の方はご請求下さい。(Tel. 03-279-6021)

1988 International Conference on Measurement and Control of Granular Materials MCGM '88

1. 期日 1988年9月21日～24日
2. 場所 Shenyang, China
3. 主催 Shenyang International Conference Centre for Science and Technology (SICCST)
4. トピックス
 Measurement :
 - Composition of granular materials (including pulp).
 - Moisture content of granular materials (including grain).
 - Density of dust in air (or aerosols).
 - Temperature of granular materials.
 - Flow of granular materials in pipelines (including two phase gas-solid and liquid-solid).
 - Velocity of granular materials.
 - Density of granular materials in pipelines.
 - Level of granular materials in vessels.
 - Size of granular materials (including dust and aerosols).
 - Shape of granular materials.
 - Weight of granular materials.
 - All measurement relating to granular materials.
 Control :
 - All process control relating to granular materials in mining, metallurgy, power, coal, building, oil, chemistry, medical, light and grain industries.
5. 公用語 英語
6. アブストラクト
 - 1) 語数: 400～500 語
 - 2) 締切: 1988年2月15日
7. 詳細についての問い合わせ先:
 Shenyang International Conference Centre for Science and Technology (SICCST).
 No. 3, Li 3, Section 4, Minzu Street.
 Shenyang, China

アブストラクトの送付先:
 Prof. Zhang Hong-xun
 P. O. Box. 321, MCGM '88
 Northeast University of Technology
 No. 1, Section 1, Wenhua Road
 Shenyang, China

The December 1988 Electric Furnace Conference

1. 期日 1988年12月
2. 場所 Pittsburgh, U. S. A.
3. 主催 Process Technology Division of the Iron & Steel Society of AIME Steel Division of the American Foundrymen's Society
4. テーマ The research, development, and application of processes for filtering liquid metals.
5. アブストラクト 締切: 1988年3月31日
6. 詳細についてのお問い合わせおよびアブストラクトの送付先は下記の通りです。

A. K. ZAMAN	R. H. KALTENHAUSER
Rockwell International	Allegheny Ludlum Corp.
PO Box 188, 4th & Park	Technical Center
Atchison, KS 66002	Brackenridge, PA. 15014
Tel. 913-367-2121	Tel. 412-226-6295

International Symposium "The Martensitic Transformation in Science and Technology"

1. 期日 1989年3月9, 10日
2. 場所 Bochum, F. R. Germany
3. 主催 Deutsche Gesellschaft für Metallkunde e.v.
4. トピックス
 - Temperatures, course and hysteresis of the martensitic transformation.
 - Shape- and volume-change.
 - Martensitic microstructures.
 - Nucleation and growth of martensite.
 - Residual austenite, measurement techniques and its relation to the properties of the material.
 - Strain- and stress-induced martensitic transformation of metastable austenite.
 - Martensitic transformation of heterogeneous microstructure.
 - Martensitic transformation of non-metallic materials.
 - New developments and applications of shape-memory-alloys.
5. 公用語 英語
6. アブストラクト
 - 1) one page (16 cm×24 cm)
 - 2) 締切: 1988年7月15日
7. アブストラクトの送付先および詳細についてのお問い合わせは下記にてお願いします。
 Deutsch Gesellschaft für Metallkunde e.v.
 D-6370 Oberursel F. R. Germany Tel. 06171/4081